

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## なごや ちくさ WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ  
 承認 1982年 8月24日  
 例会日 火曜日 12:30  
 例会会場 愛知厚生年金会館  
 事務局 千464 千種区池下一丁目4番18号  
 井上ビル4F D号  
 Tel 763-5110  
 会長 竹内真三

みんなにロータリーを —— みんなに奉仕を

No.29 (1983~1984)

Share Rotary —— Serve People

1983~84年度RI会長 ウィリアムE. スケルトン

### 第73回例会 昭和59年1月24日(火) 晴

#### ◇ “奉仕の理想”

#### ◇ 出席報告

会員 52名 出席 36名  
出席率 69.23%

#### ◇ 前回 1月17日 (修正出席率) 100%

#### make up

秋山君(1/21守山), 林君(1/21守山), 堀江君(1/18和合), 菊池君(1/19瑞穂), 小池君(1/21守山), 黒野君(1/20北), 笹野君(1/18南), 菅原君(1/11名北), 鈴木(正)君(1/13北), 手島君(1/19瑞穂), 寺澤君(1/17犬山), 都築君(1/14守山), 鷗飼君(1/21守山)

#### ◇ ビジター紹介 3名

#### ◇ ニコボックス

都築君(先週ホームクラブ失礼しました)

#### ◇ 松居直前幹事報告

1. 本日RIスケルトン会長来日のため、竹内会長、三輪幹事、林国際奉仕委員長は名古屋RCインターシティミーティングに出席しておりますことを御報告いたします。

2. 次回例会終了後、理事会を行いますので理事役員の方は2F橋の間にお集り下さい。

#### ◇ 菊池社会奉仕委員長報告

社会奉仕活動の一端として、千種消防署を訪問し一年間の労苦をねぎらいましたが1月19日に感謝状を頂戴しましたのでここに披露して報告いたします。

#### ◇ 新入会員紹介

氏名 木全昭二君  
 生年月日 昭和2年12月7日  
 事業所 木全行政書士事務所  
 千種区高見1-5-2  
 TEL 762-3952  
 地位 行政書士



自宅 名東区猪高町大字高針北島31

推薦者 青山敏郎

職業分類 行政書士

#### ◇ 加藤(大)副会長挨拶

本日は竹内会長がインターシティミーティ

ングに出席しておりますので、私が代って挨拶させていただきます。

1984年の新しい年を迎えられ、年頭の挨拶、新年宴会等々いろいろとお忙しい毎日であったと存じます。それらの行事も一応一段落されたことでありましょう。

一昨日大相撲初場所も終り、おしん横綱隆の里が4度目の優勝を飾りました。

先週の卓話で中日新聞論説委員加藤鎮司先生の遊びと文化について講演頂いたのですが、非常に深い感銘を受けました。

今や日本は世界一の長寿国であり、高齢者社会が進んでおります。

いわゆるボケ老人、正式名は痴呆症老人病が全国で50万人いるそうです。年をとっても頭は使うべし、身体も使うべし、80才以上になられても元気にゴルフなどやっていたらしゃる方もたくさん知っております。

今全国的にゲートボールが御老人のあいだで大流行をしています。

自分自身がレジャーにしるスポーツにしる楽しみを持つこと、すなわち遊びが大切になって来たといえましょう。

今年 はオリンピックの開催の年ではありません。4年前のモスクワの夏のオリンピックは、アメリカの前カーター大統領による政治的な圧力でJOCも断腸の思いでボイコットを余儀なくされました。カナダのモントリオール以来実に8年振りのオリンピック参加と言うことになります。

第14回冬季オリンピック大会は来月2月8日から19日まで12日間ユーゴスラビアのサラエボで開催されます。冬のオリンピックは5競技、スキー、スケート、バイアスロン、ボブスレー、リュージュで、IOC委員の竹田恒徳団長以下69名の選手団をJOCでは派遣することになっております。

また夏のオリンピックは7月28日から8月12日までの16日間、アメリカロサンゼルスで開催されます。すでに皆様方御存知の通り世界で初めての民間ペースのオリンピックであ

り、例えばマクドナルドハンバーガーがスイミングプールを400万ドルで作るとか、セブンイレブンが自転車競技場を作るとか言った具合です。ピーターユベロス実行委員会委員長に私も東京で会いましたが、若くて切れ者、その手腕の程は高く評価されており、すでにあり余る資金が集まっているとのことでした。

東京オリンピックの日本選手団の金メダル総数16個、メキシコでは11個、ミュンヘン13個、モントリオール9個と東京オリンピックをピークにその数も下回り、あらためて世界の壁の厚さを物語っております。

また今回は特に中国が初参加致しますので、日本のお家芸体操競技など、あらゆる種目で脅かされそうです。柔道の山下始めマラソンの瀬古、女子バレーなど金メダル候補はあるものの、果して2ヶ々の10個以上金メダルを取れるかどうか、23万人のロス日系人が熱い声援を送っております。

1932年(昭和7年)のロス五輪では、当時としては200人の大選手団を送り金メダル7、銀7、銅4を獲得し、日本強し、日本がスポーツ大国であることを立証し、当時の在留邦人を歓喜させたのであります。どうか8年振りのオリンピックに皆さんの御声援を御願ひ致しまして私の会長代理挨拶と致します。

#### ◇講演

“東京ディズニーランドの御紹介”  
会員 松藤 国弘 君



先般当クラブに入会をさせて頂いた折に、私の推薦者であります菅原君のご紹介のお言葉の中で、東京ディズニーランドの設計をした会社に勤務しているとのことをご紹介頂いたと記憶しておりますが、

その東京ディズニーランド(略してT. D. L.)の話を少しさせて頂きます。

ご承知のようにT. D. L.は昨年春に華々しくオープンをしました。その規模は、本家にありますL. A. 郊外のアナハイムにあります。ディズニーランドの約2倍、フロリダのオーランドにありますディズニーワールドの規模の1.5倍の広さをもっているものであり、後楽園球場の約30倍の広さをもつものであります。

T. D. L.プロジェクトは、ウォルトディズニープロダクションズと株式会社オリエンタルランドの業務、技術提携により事業が進められたのであります。企画、設計、建設、製作、運営に関する必要なノウハウがディズニー側より提供され、ディズニー側と我社の技術陣による共同のプロジェクトチームによって設計を行ったのであります。アメリカの2つのディズニーの良いところばかりを取り入れ、両者の人気施設のみを集めて改良再配備して、さらにT. D. L.独自の新しい施設もウォルトディズニープロダクションズによってオリジナル企画をされて第3のディズニーランド作りが行われたのであります。昭和52

年にマスタープランに着手し、当初のマスタープラン段階は、ウォルトディズニープロダクションの本拠地でありますアメリカ西海岸を舞台に作業を進め、実施設計、詳細設計の段階にはいりますと日本での作業にはいった訳であります。その書いた図面の枚数が約40,000枚、設計に要した期間が3年、我社の技術陣の延べ人員がプロジェクト全体で約60,000人位、工事の期間が3年近くを要した訳であります。工事費が750億円、アトラクション等の製作費280億円、その他いろいろで大体1,300億円位の事業費であると言われております。山本周五郎の小説“青べか物語”で知られる千葉県浦安の地に、大人と子供が共に笑い、共に驚き、共に発見し、共に楽しむことのできる新しい世界を作った訳であります。ここでテーマランドの中の一部をご紹介しておこうと思ひます。

「アドベンチャーランド」では、うっそうとしたジャングルを探検ボートで下っていきまると、象やカバ、鳥などの野生動物の人形がまるで本物のようにな現われてきます。又、南海の鳥や花が歌うチキルーム。カリブの海賊館では、交戦する海賊たちの弾丸が波しぶきをあげる大海原、略奪する海賊達、酒をかかえて歌う男、火をはなれてメラメラ燃える街並など、次々に変わる場面をぬってボートは進み、冒険とロマンの夢をかきたてます。

「ウエスタンランド」では、開拓時代の西部の街並が再現され、ゲストは西部劇の世界にいるような感じにひたされます。「ファンタジーランド」では、ディズニーの童話の世界が再現されており、ヨーロッパのドイツやスイスの街並の中でピーターパンと一緒に空を飛んだり、白雪姫やピノキオの冒険を楽しむことができます。積木を積んだようなイツ・ア・スモールワールドでは、世界中の民族衣裳をつけた子供達の人形が歌い踊る中を舟で回避します。

「トゥモローランド」では、360の画面に美しい世界の風景を觀賞したり、直径60mの柱のない宇宙の山「スペースマウンテン」の中で、ジェットコースターに乗って宇宙旅行に旅立つことができます。もう1つのテーマランドはメインエントランスのワールドバザールであります。これはビクトリア王朝風の様式建築の街並によって構成されております。以上5つのテーマランドの雰囲気をご紹介しましたが、これの建物内外装の主要な部分は、ほとんどがF. R. P. とモルタル塗りの擬似レンガ、擬石でできており、塗装技術によってその時代のそのままの本物そっくりに仕上げられております。

最後に私が名古屋へ参りまして今年でまだ8年でありませんが、昨春秋にこのロータリークラブに入会をさせて頂き喜んでおります。私は一期一会、出会いと言う言葉が好きであり、この出会いを大切に常々願っているものであります。

#### ◇次回例会(1月31日)

講演 “ロサンゼルス・オリンピック”

会員 菅原 宣彦 君

#### ◇次々回例会(2月7日)

講演 “グアム島28年のサバイバル生活”

生活評論家 横井 庄一氏

(紹介 加藤 (大)君)